

放射性廃棄物対策
- 保管廃液の処理方策の検討 -

STRAD (Systematic Treatment of **RA**dioactive liquid waste for **D**ecommissioning) プロジェクト

施設の廃止措置上の課題となり得る放射性廃液の処理のために、JAEAのCPFをモデルケースとした放射性廃液処理の技術開発及び技術のデータベース化を開始しました。複雑な組成を有する分析廃液等をはじめとした、安定化処理に新規技術開発を必要とする対象について、大学等との共同研究を行い、それらを統合したSTRADプロジェクトを立ち上げました。

①分析廃液(水相)

方針：アンモニウムイオン除去後に固化処理する。
アンモニウムイオンは分解する。

協力体制：北海道大学
東京都市大学
東海大学

②分析廃液(有機相)

方針：難分解性化学種の分解し、疎水性吸着材を用いて放射性物質を除去する。

協力体制：九州工業大学
ナノクス㈱

JAEA

研究とりまとめ
プロセス設計
実液処理

方針：U, Puを吸着除去後にCMPOを分解し、リン酸は固化処理する。

協力体制：量子科学技術研究開発機構
茨城大学
芝浦工業大学

③廃溶媒